

5・6年生から

『海辺の宝(たから)もの』(289ア)

ヘレン・ブッシュ／著(ちょ)、
鳥見 真生(とりみ まさを)／訳(やく)、
佐竹 美保(さたけ みほ)／画、あすなろ書房



メアリーは、イギリス南部の小さな海辺の町に住む、12歳(さい)のちょっと変わった女の子。学校は好きじゃないし、友だちと遊ぶのも嫌(きら)い。好きなのは、ひとり海辺を歩くことと、とうさんから習った「変わり石集め」をすること。そんなある日、世界的な大発見をすることに!

世界初の女性(じょせい)化石採集(さいしゅう)者、メアリー・アニングの少女時代のお話です。



『最後のドラゴン』(933ワ)

ガレット・ワイヤー／著(ちょ)、
ケイティー・ハーネット／画、
三辺 律子(さんべ りつこ)／訳(やく)、
あすなろ書房

深夜のザッハーホテルで出会った、特別なドラゴンのグリシャと孤独(こどく)な少女マギーは、魔法(まほう)によって古都ウィーンに眠(ねむ)らされているドラゴンたちを救(すく)い出すための冒険(ぼうけん)の旅にでた。



旅の中でそれぞれの思いを打ち明けて、少しずつ友情(ゆうじょう)を深めて親友となったふたりの、おたがいを大切に思う気持ちに心打たれるお話です。

1月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
お休み	※12月29日～1月3日は、年末年始のため市内全館お休みです。 中央図書館 (TEL 786-6353) 坂田図書館 (TEL 783-2150)					
お休み	※毎週月曜日、桶川・川田谷図書館はお休みです。 桶川図書館 (TEL 771-0303) 川田谷図書館 (TEL 786-8846) ※川田谷図書館は、令和6年1月9日からリニューアルオープン予定です。					

※おはなし会の予定は、桶川市図書館ホームページ「図書館カレンダー」や、館内のお知らせをご確認ください。

★「もりのくまさん」についてのお知らせ
今月の『もりのくまさん』は小学生向きです。

No. 389



もりのくまさん

おけがわしとしゃかん



2024年1月1日発行 桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

2024年は、辰(たつ)年です。
今月は、いろいろな「竜(りゅう)」や「ドラゴン」の本を紹介(しょうかい)します。



でか竜になる

『ちび竜(りゅう)』(Eチ)

工藤 直子(くどう なおこ)／文(ぶん)、
あべ 弘士(あべ ひろし)／絵(え)、童心社

ちいさな つぶから、ちび竜が うまれたよ。水たまりで ぴんぴんおどっていると、さいしょの ともだちがおしえてくれたんだ。



「あんた、ここから とびだして、どンドン『でか竜』になる」「あっちこっちに ともだち つくる」ってね。ちび竜は、いろいろな 生きものと であい、水や 風(かぜ)や 土とも なかよくなっていくよ。さあ、ちび竜は どんなすがたに なるのかな?

1・2年生(ねんせい)から

『タツノオトシゴ』

ひっそりくらすなぞの魚(さかな)』(Eタ)

クリス・バターワース/文(ぶん)、

ジョン・ローレンス/絵(え)、

佐藤 見果夢(さとう みかむ)/訳(やく)、評論社

海(うみ)のかたすみで
ひっそりくらす、
タツノオトシゴ。

顔(かお)はウマのようで、
しっぽはサルにそっくり。

オスのおなかには、
カンガルーのようなふくろがある。みためは
小(ちい)さな竜(りゅう)に にているけれど、
魚のなかま。

なぞだらけのタツノオトシゴのくらしを
のぞいてみよう。



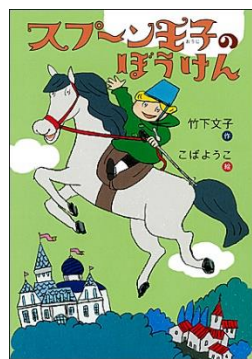
『スプーン王子のぼうけん』(913タ)

竹下 文子(ふみこ)/作(さく)、

こば ようこ/絵(え)、鈴木出版

王子さまは、生まれたときから
ぎんのスプーンといっしょ。
ようせいからもらった、
ぎんのスプーンが大すぎて、
みんなから『スプーン王子』と
よばれています。

ある日、王子さまは本に
かかっている、りゅうと
たたかう えを見て、自分(じぶん)もやってみたく
思(おも)いました。りゅうをやっつけることは
できるのでしょうか？ さあ！ ぼうけんのはじまり
です。



3・4年生から

『ちびドラゴンのおくりもの』(943コ)

イリーナ・コルシュノフ/作、

酒寄 進一(さかより しんいち)/訳(やく)、

伊東 寛(いとう ひろし)/絵、国土社

ハンノーは、ふとっいて
ぶきようで、おくびょうな男の子。
学校でもいつもひとりぼっち。そんな
とき、地のそのドラゴンの国から
やってきた、ちびドラゴンとであい
ました。ちびドラゴンは、あたまが
一つしかなくて、つばさも小さくて、
火ふきコンテストでもいつもぶりっかす。

にている 2人はともだちになります。いっしょに
木のぼりしたり、うたをうたったり、字をれんしゅう
したり……。きみがいれば、勇気(ゆうき)と
自信(じしん)がわいてくる！



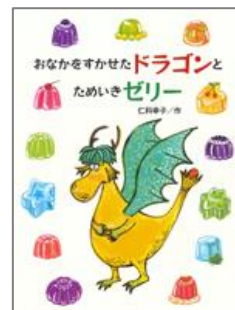
『おなかをすかせたドラゴンとためいきゼリー』

(913ニ)

仁科 幸子(にしな さちこ)/作、あすなる書房

ひとりぼっちの黒ネコは、大きく
深(ふか)いためいきを食べるのが
大すきなラッキードラゴンに
であります。黒ネコはためいきを
水アメに変(か)えることができます。
黒ネコは、ほかのネコたちに
ためいきをはいてもらい、かわりに
水アメをあげることにしました。

けれど、だんだん集(あつ)まるためいきは軽(かる)く
なっていき、水アメもできなくなりました。
いったいどうするのでしょうか。



5・6年生から

『黒紙の魔術師(まじゅつし)と白銀の龍(りゅう)』

(913ト)

鳥美山 貴子(とりみやま たかこ)/著(ちよ)、

講談社



黒爪(くろづめ)山でつかまえた黒とかげが、
ただの折紙になってしまった。悠馬(ゆうま)は、
折紙教室の先生に黒とかげを預(あず)けるが、
先生がとかげとともにいなくなってしまう。
ふたたび山へ向かうと、和紙で折られ命を吹(ふ)き
こまれた“かに”と“白い龍”に出会う。

命が吹きこまれたおりがみをめぐる、時代を
超(こ)えた少年たちの大冒険(ぼうけん)！

